

ズバリ 町政を 問う!

タイトル：熊野東中学校2年 中野 光姫さん

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は1人答弁含め、60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
6	水原 耕一 議員	1. (仮称)筆の里創造の丘公苑「交流施設」の計画内容は 2. 公立中学校の部活動の指導が民間に移行する。町の体制づくりは
7	中島 数宜 議員 竹爪 憲吾 議員	1. DXの推進と業務の効率化を図る考えはあるか 1. 安心・安全に暮らせる町づくりの現状と今後は
8	福垣内 邦治 議員	1. 電話予約型乗合タクシーの導入を求める 2. 公共施設のネット環境整備の進展を問う
9	沖田 ゆかり 議員	1. 未就園児へのプッシュ型支援を 2. 子どもを主体とした、いじめ防止への取り組みを
10	山野 千佳子 議員	1. 若年世帯増加による待機児童ゼロは可能か 2. キッズスポーツクラブの開設は可能か
11	荒瀧 穂積 議員	1. 県道矢野安浦線バイパス事業費の負担割合は 2. クーポン業務の業者選定は
12	尺田 耕平 議員 片川 学 議員	1. 熊野町の借金は 1. 筆の里工房周辺整備事業の練り直しを

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

令和4年 第4回 熊野町議会臨時会(11月)

令和4年度熊野町一般会計補正予算(専決第2号・第3号)を可決
歳入・歳出とも3億625万円の増額 総額102億7,211万円に

主にコロナ禍や電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けている住民の生活を支援すると共に非対面・非接触型の行政サービスを実現するための事業として

- 緊急支援給付金 **1億3,352万円**
低所得者世帯に対し5万円の給付金を支給
- 地域経済応援クーポン券発行 **1億4,700万円**
地元商店・飲食店への消費喚起の一助とするため割引クーポン券(1世帯1万2千円分)を発行(11,000世帯)する。



- 水道料金等補助・支援 **2,398万円**
水道料金(基本料金)を免除。また、上水道未給水世帯への支援金を交付する。
- 公共施設へのインターネット環境等整備 **175万円**
職員の業務効率化の向上を図るため。東・西防災交流センター、町民会館、くまの・こども夢プラザにインターネット環境を整備する。

主な質疑

- Q. 給付金対象世帯数はどのくらいを見込んでいるか。
A. 住民税非課税2,488世帯(令和4年度)、家計急変世帯とを合わせ2,600世帯と見込んでいる。
- Q. インターネット環境整備事業の完了時期は。
A. 今年度中、できれば2月末くらいまでには完了したい。

